

(様式第1-2号)

## 平成 22年度 農業主導型6次産業化整備事業実施計画

### 1 6次産業化法人について

#### (1)6次産業化法人の概要

6次産業化法人の名称	組織の形態	代表者名	設立年月日
ノースブレインファーム株式会社	農業経営を行う法人	大黒 宏	昭和63年12月15日
主たる事務所の住所	紋別郡興部町北興116番地の2	TEL FAX	セキュリティに配慮し、 非公開といたします。

#### (2)6次産業化法人の構成員

構成員の氏名	年齢	住所・所在地 (都道府県市町村名)	出資金額	出資比率	備考 (農業生産法人である場合)
<b>当該項目については個人情報を含むため、非公開といたします。</b>					
			45,000,000 円	100.0 %	

(注) 備考欄には、農業生産法人である場合に農地法第2条第3項第2号に掲げる要件のいずれかを記入すること。この場合、常時従事者は「常」、農地等の使用収益権を移転・設定しているときはその旨を記入すること。

#### (3)6次産業化法人の経営状況

項目	
総収入(A)	<b>当該項目については企業の経営内容の詳細を含むため、 非公開といたします。</b>
総支出(B)	
売上高(C)	
営業利益(D)	
経常利益(E)	
当期利益 (A-B)	
総資本(G)	
自己資本(H)	
総負債(I)	
収支率 (A/B×100)	
総資本経常利益率 (E/G×100)	
売上高経常利益率 (E/C×100)	
負債比率 (I/H×100)	

- (注)
- 1 総収入=売上高+営業外収益+特別利益
  - 2 総支出=売上原価+販売費及び一般管理費+営業外費用+特別損失
  - 3 営業利益=売上高-売上原価-販売費及び一般管理費
  - 4 経常利益=営業利益+営業外収益-営業外費用
  - 5 負債比率=総負債(他人資本)÷自己資本×100

(4)6次産業化法人の現状及び課題

現状と課題	<p>[概要] 北海道紋別郡興部町で昭和32年より酪農専業経営を行ってきた大黒牧場が、昭和63年に乳業免許を取得。地元を中心に低温殺菌牛乳の製造、販売を開始した。同時に株式会社を設立し、自社原料を使用したバター、チーズ、ハンバーグ等の乳肉製品、菓子類の製造販売を行っている。また、道内外に直営レストラン、店舗を有し原料生産から販売までの一貫経営を行っている。</p> <p>[沿革] 昭和32年 興部町北興において酪農経営開始 昭和63年 乳処理業の免許取得 ミルクプラント落成 町内牛乳宅配開始 ノースブレインファーム株式会社設立(資本金500万円) 平成 3年 チーズ、バターの製造、販売許可取得 直営レストラン「ミルクホール」オープン(興部町) 平成 6年 ミートプラント落成 平成 7年 興部町内の学校給食に牛乳納入開始(資本金1000万円) 直営レストラン「エスペリオ」オープン(旭川市) 平成12年 新ミルクプラント操業開始 (資本金2000万円) 平成13年 菓子工房操業開始 (資本金4500万円) 平成17年 京都大丸店オープン(京都市) 平成18年 酪農教育ファーム認定 札幌駅前店開店・生キャラメル発売開始 平成19年 キャラメル工房落成 平成20年 大雪キャラメル工房操業開始(東川町) 平成21年 大黒牧場をノースブレインファーム(株)に統合</p> <p>[商品] 低温殺菌牛乳「オホーツクおこっぺ牛乳」、ゴーダ系チーズ、モッツアレラチーズ、発酵バター、ドリンクヨーグルト、ハードヨーグルト、ソフトクリームミックス、ハンバーグ、コロケ、ソーセージ、クッキー、プリン、バターケーキ、ロールケーキ、チーズケーキ、生キャラメルなど</p> <p>[所得] 正社員平均賃金 3,500千円(平均年齢34歳)</p> <p>[雇用]・・・正社員31名 パート62名 役員8名 合計101名(22年4月末現在) 農場(4名) 乳牛・肉牛の管理、ほ場管理、環境整備 管理本部(3名) 経理業務、労務管理 製造本部 ミルクプラント(14名) 牛乳、乳製品の製造。製品検査 セントラルキッチン(9名) 畜肉製品の加工。惣菜の加工 キャラメル工房(13名) 生キャラメルの製造 生キャラメル大雪工房(9名) 生キャラメルの製造 菓子工房(4名) 菓子、パンの製造 企画営業部(4名) 各種営業、企画 興部宅配(4名) 興部町内、周辺宅配、卸 レストランミルクホール(6名) レストラン業務及び直売 京都大丸店(4名)直売店 札幌店(6名) 直売店 株式会社ノースブレインファームエスペリオ出向 レストランエスペリオ(10名) レストラン業務及び直売 旭川宅配(3名)旭川・周辺宅配、卸</p> <p>[事業に取り組むこととなった背景] 今まで以上に高品質の低水分発酵バターを製造するために、製造機械の高性能化を図りたい。バターを使用した新製品の開発と特産化をはかり、オホーツク地域の農業振興に寄与したい。これにより来場者数の増加が見込まれるため、現在のレストラン兼直売所の増改築等も必要となった。</p>
-------	--

6次産業化の展開方法	<p>[6次産業化の展開方法]</p> <p>当社が従前より取り組んできた生産から販売まで付加価値をつけた酪農は、多くの地元雇用を生み出し、また安全でごまかさない、味がよい、品質に応じた妥当な価格という製品づくりの姿勢は、消費者より高い評価を得ている。今後、積極的な事業展開を考えたとき、今までの経験から良質乳から加工される高品質な発酵バターを生産と、そのバターを利用したパンやパイに限りない可能性を感じており、収入の増加が期待される。</p> <p>また、この地で生産された商品を、地元で売り切ることが理想であると考えており、農場に足を運んでくださるお客様が満足してくださるような直売所や、周辺環境の整備も推し進めていきたい。</p> <p>本物を求める消費者のニーズにこたえるには、原料から生産できる生産者のメリットを十分に生かした高い加工技術の追求と経営のバランスが要求される。循環型、放牧型の酪農経営のスタイルは変えず、当社が20年間手がけてきた生産・加工・販売を一貫して行う6次産業化を更に展開し、経営の基盤を強固なものとしていくと同時に、地域産業の核として発展してまいりたい。</p> <p>以上のことから、下記をポイントに今後の整備を進めてまいりたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 低水分の発酵バターを製造するために、乳製品加工施設にある発酵バター製造機械(セパレーター等)の高性能化を図る。 (現在のバター含水量は16%(標準17%)。機械の更新による目標含水量は15%以下。)</li> <li>2. 新たに、分離された副産物の脱脂乳の加工・充填ラインを導入する。</li> <li>3. 発酵バターを原材料とする発酵バターケーキの生産拡充のため、加工施設を増改築する。</li> <li>4. パイ・クローツサン工房の新設し、その作業風景が消費者の目に触れるよう直売店を改装する。 (パイ・クローツサン工房を新設し、併せてレストラン兼直売店を改装する。)</li> </ol> <p>※ レストランでは、牧場内で生産された製品からつくられる料理を味わうことができる。 一つの敷地内で6次産業化を消費者が体感する場所としては非常に効果的で、来場者の滞在時間を長くし購買力を高めると共に、客単価のアップを図る。</p> <p>※ 団体ツアー客(契約先のJTB、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム)等の収容を可能にし、特に雨天時、冬期間の顧客対応が可能となる。</p>
------------	--

①農業生産

作物・部門別	計画時		目標年度	
	頭数	生産量	頭数	生産量
牛乳	52 頭	350 t	52 頭	350 t
	頭	t	頭	t
	頭	t	頭	t

②加工(2次産業分野)

作物・部門別	内容	製造量	
		計画時	目標年度
牛乳	醗酵バター	10.8 t	23.9 t
牛乳等	醗酵バターケーキ	18,492 台	117,436 台
牛乳等	サワーミルク	0 本	395,449 本
牛乳等	パイ、クッキー等	0 個	136,691 個
牛乳等	クロワッサン等	0 個	111,185 個

③流通・販売(3次産業分野)

作物・部門別	内容	販売額	
		計画時	目標年度
牛乳	醗酵バター	35,640 千円	35,640 千円
牛乳等	醗酵バターケーキ	15,500 千円	100,000 千円
牛乳等	サワーミルク	0 千円	50,000 千円
牛乳等	パイ、クッキー等	0 千円	15,000 千円
牛乳等	クロワッサン等	0 千円	15,000 千円

2 連携法人について

該当なし

### 3 成果目標及び達成プログラム

#### (1) 目標設定

項目	計画時 (平成21年度)	1年度目 (平成22年度)	2年度目 (平成23年度)	3年度目 (平成24年度)	4年度目 (平成25年度)
(所得の向上に関する成果目標)	548,000 千円	548,000 千円	614,000 千円	656,000 千円	712,500 千円
売上高の増加	- %	100 %	112 %	120 %	130 %
(雇用の創出に関する成果目標)	93 人	96 人	98 人	103 人	103 人
(地域の活性化に関する成果目標) [ 来町者の増加 ]	40,000 人	42,000 人	45,000 人	47,000 人	50,000 人

#### (2) 目標設定の考え方

項目	目標設定の考え方
(所得の向上に関する成果目標) 売上高の増加	今回の新たな施設、機械整備により、酪農→牛乳→バター→菓子といった製造から販売までの流れを強化することにより、目標年度までに約1億6,450万円の売り上げ増を見込んでいる。
(雇用の創出に関する成果目標) 雇用者の増加	販売、製造において新たな労働力が必要となるため、目標年度までに新たに10名の雇用増を見込んでいる。 内訳(直売所:4名、バター加工施設:2名、パン・菓子工房:4名)
(地域の活性化に関する成果目標) [ 来町者の増加 ]	2003年の観光統計上、観光客の入込数が5,000人と全道一少ない当町の観光客数を、目標年度(2013年)までに10倍に増やしたい。これにより、町内に6軒ある乳製品加工工場への波及効果も大きく地域経済の寄与も期待される。(2009年当社レストラン兼直売店「ミルクホール」においては概算ではあるが40,000人の来店があった) ※ 来町者数は店舗で使用するPOSレジの集計にて把握する。

4 整備計画等

(1) 施設等の整備計画

No.	事業主体名	整備内容		工期		機械・施設の設置・保管住所
		施設名	事業量 (規模、台数等)	着工年月日	竣工年月日	
1	ノースプレインファーム(株)	農畜産物加工施設 (醗酵バター・サワー ミルクの製造)	1棟726㎡ (セパレーター等設備一式)	平成22年12月1日	平成23年2月15日	興部町字北興117-3
2	ノースプレインファーム(株)	農畜産物販売施設 (直売施設及びパイ、 クッキー、クロワッサンの製造)	1棟439㎡ (増改築等)	平成22年12月1日	平成23年2月15日	興部町字北興116-2
3	ノースプレインファーム(株)	農畜産物加工施設 (醗酵バターケーキの製造)	1棟315㎡ (増改築等)	平成22年12月1日	平成23年2月15日	興部町字北興113-8

No.	総事業費	負担区分			融資先(増資)		備考
		国庫補助金	自己資金	その他	金融機関名	償還年数	
1	22,050 千円	10,500 千円	11,550 千円	千円	アグリビジネス投資育成株式会社	—	補助率 1/2 除税額 3,096(千円) うち国費 1,548(千円)
2 及 び 3	42,984 千円	20,468 千円	22,515 千円	千円		年	※増改築工事は一括して発注するため2及び3を合算
計	65,034 千円	30,968 千円	34,065 千円	千円			

(注) 1 工期欄には、申請時にあつては着工及び竣工予定年月日を、実績報告時にあつては実際の着工及び竣工年月日を記入すること。

2 担保欄には、補助対象物件を担保に供し、自己資金の全部又は一部を金融機関から融資を受けようとする場合に記入すること。

3 備考欄には、国庫補助率を記入するとともに、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には減額した金額を、仕入れに係る消費税相当額がない場合には「該当なし」と、仕入れに係る消費税等相当額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入すること。

4 補助金実績報告時において、承認のあつた事業実施計画のうち整備計画の内容に変更が生じた場合には、本様式の4の(1)整備計画を修正して添付すること。

(2) 事業費低減の方策

施設等名	事業費低減の具体的方策
農畜産物販売施設	既存施設、機械の有効利用により投資を最小限に圧縮することとしている。

(3) 関連事業

他の補助事業で整備した機械・施設等

事業名	事業内容	実施年度	利用計画	利用実績	利用率(%)

(4)機械・施設等の利用計画

事業実施主体 (管理主体)	構造・規格	規模・台数	管理運営 従事者	利用(稼働)期間	施設運営に係る 収入/年間(千円)	施設運営に係る 支出/年間(千円)
ノースプレインファーム(株)	直売所兼クロ ワッサン等の製 造施設	439㎡ 一式	11人	年間300日	(内訳)	(内訳)
	バター関連乳製 品製造関連機械	726㎡ 一式	6人		132,500/年間(千円)	123,385/年間(千円)
	菓子製造機械	315㎡ 一式	14人			

対象作目	稼働計画(処理量)/年間	適正かつ十分な利用が見込まれる理由
直売	51,672千円/年間 247,876個/年間(クロワッサン等)	施設は年間300日稼働することとしている。現在でも、当社の醗酵バターをはじめとする商品は首都圏外資系ホテル、有名百貨店等より高い評価を得ており、製造設備の充実により、さらにユーザーのニーズに応えることが可能となる。また、牛乳の生産から、加工、販売までを一貫して行うことにより、消費者に安全で新鮮なイメージを持ってもらえ、直売所の売り上げに貢献する。
バター及び乳製品	23.9t/年間	
菓子	117,436個/年間	

(注)1 機械・施設等ごとに作成すること。

2 処理量は機械・施設等に応じて、(t・千円・ha)等を記入すること。

5 費用対効果分析

項目	効果等	備考
総事業費:A(千円)	65,033	
1 効果の内訳(年効果額):B(千円)		
(1)直接効果	24,101	
①生産向上効果	29,101	
②経費節減効果	-55,000	
③経営基盤保全効果		
④農外所得増加効果	50,000	
(2)間接効果		
①地域所得増加効果		
②洪水防止効果		
③水源かん養効果		
④土壌浸食防止効果		
⑤土砂崩壊防止効果		
⑥有機性廃棄物処理効果		
2 直接効果比率:直接効果額/年効果額	100%	
3 廃用損失額:C(千円)	0	
4 還元率:D	0.15	
5 総合耐用年数	8.2	
6 妥当投資額:E=B/D-C	165,574	
7 投資効率:F=E/A	2.55	